



手術室で手袋の着け方などを教わる高校生

高校生が医療現場を体験

安曇野日赤でセミナー

地域の高校生が医療現場の仕事を経験する方、手術着の着方などセミナーが31日、安曇野市豊科の安曇野赤十字病院で行われた。松本・木曽地区の高校に通っていたり、実家があつたりする44人が参加し、施設を見学しながら医師らスタッフの説明を受けた。

手術室では雑菌を持ち込まない手の洗い方、手術着の着方など、田賢斗君(17)は「患者との接し方を学ぼう」と考えて参加した。医学部を志望する松本深志高校2年の百瀬明里さん(17)は「採血の体験で患者が痛いように針を刺すのは難しいと思った」と話した。

手術室では雑菌を持

理治療法士を目指す
木曽青峰高校3年の松

度設置した「信州医

師確保総合支援センター」が企画し、8月中旬にかけて県内4地区で行われる。

(小坂 功)